

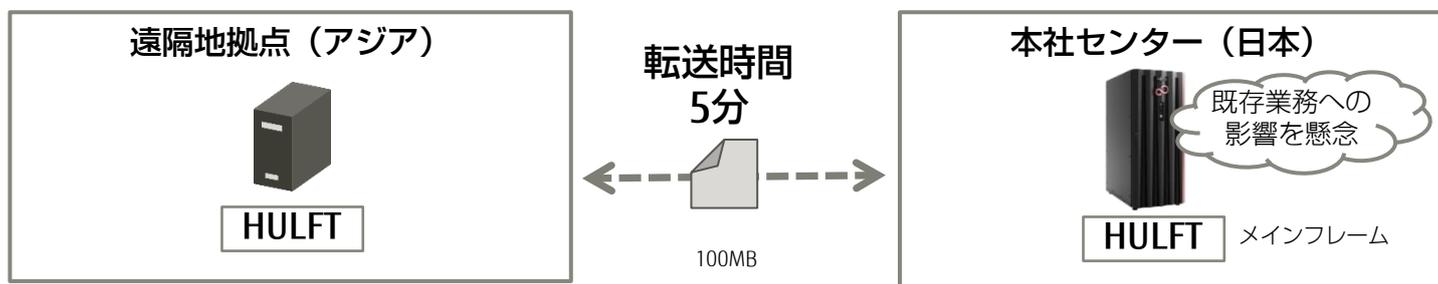
FUJITSU Software
Interstage Information Integrator V11

メインフレームを増強せずにファイル転送を高速化

～本社と遠隔地拠点間でのHULFT*1によるデータ連携を迅速に～

情報を素早く収集し、迅速な経営判断を行うため、ファイル転送の速さに課題はありませんか？

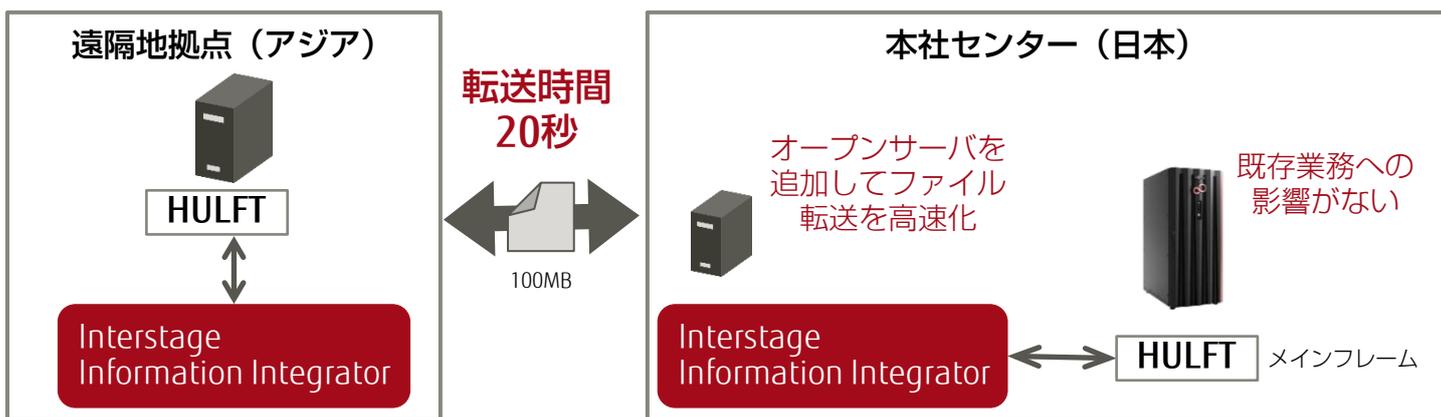
- 海外事業所で発生したデータを日本に収集し、国内ホストで管理しているデータと統合して活用したいが、遅延時間の影響により、帯域を有効に使用できず、ファイル転送に時間がかかる。
- ファイル転送を高速化したいが、既存メインフレーム業務に影響しないかという懸念がある。



Interstage Information Integrator で解決

本製品を導入したオープンサーバを追加するだけで、ファイル転送を高速化できます。

- 富士通の特許技術で回線帯域を有効に活用し、ファイル転送時間を大幅に短縮することで、情報共有・データ活用が迅速になります。
- オープンサーバを追加してファイル転送を高速化するため、既存メインフレーム業務に影響がありません。



(参考) 測定環境
・帯域: 100Mbps
・遅延: 100ms

導入効果

HULFTによるファイル転送時間を93%短縮 (5分⇒20秒)*2

- ファイル転送の時間を短縮することで、業務の効率化を実現し、迅速な経営判断が行えます。
- ファイル転送の手段を変えずに、転送時間の短縮という課題に対応できます。
- 既存メインフレーム業務には影響がなく、コストのかかる増強も必要ありません。

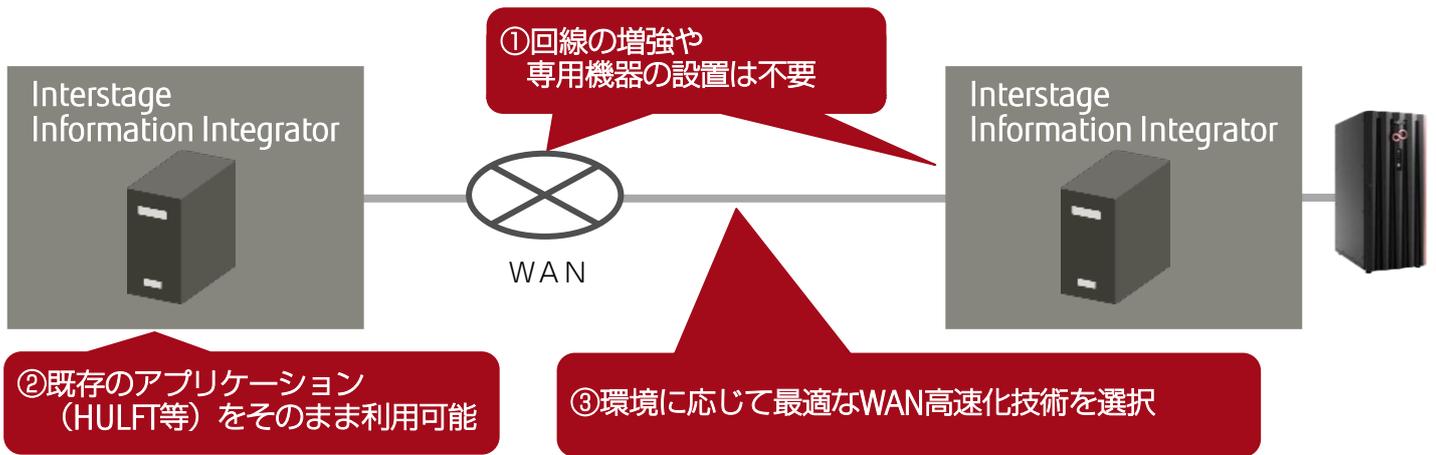
*1 HULFTは株式会社セゾン情報システムズが提供する企業内・企業間データ連携（ファイル転送）ミドルウェアです。そのほかの連携可能なアプリケーションについてはお問合せください。

*2 数値はHULFTによるファイル転送時間の擬似環境による弊社測定値です。ネットワーク環境、アプリケーションによっては、高速化の効果が異なる場合があります。本製品の導入効果を事前に確認するため、ヒアリングシートをご活用ください。

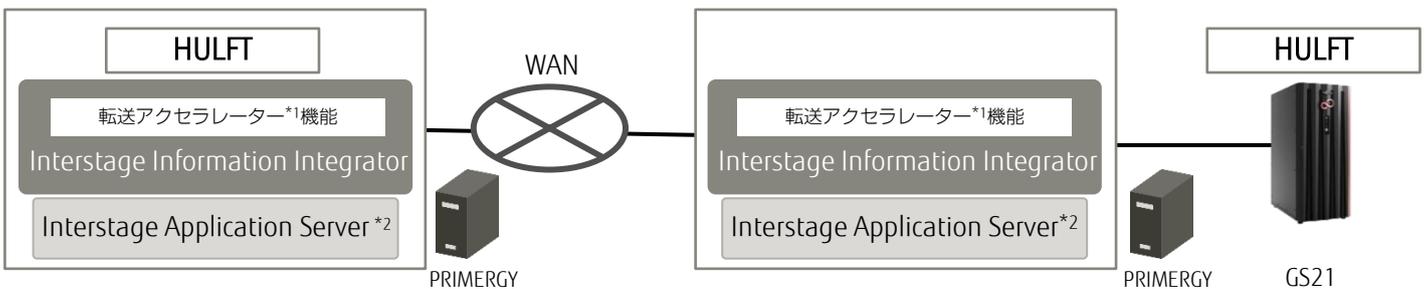
■ Interstage Information Integratorの特長

■ ソフトウェアを導入するだけで通信の高速化を実現

- ① 回線の増強や専用機器の設置は不要
高コストな回線の増強や専用機器の設置は必要ありません。
お持ちのノートパソコン、既存のサーバ、仮想サーバ（VM）やクラウド環境で利用可能です。
- ② 既存のアプリケーションをそのまま利用可能
今まで通りのアプリケーション（HULFT等）をそのまま使用できます。
- ③ 豊富なWAN高速化技術で様々な環境に柔軟に対応可能
特性が異なる複数の高速転送プロトコルや転送データ量削減技術を組み合わせ、最大限に高速化します。



■ システム構成例



品名	型番	標準価格（税別）	数量	計（税別）
Interstage Information Integrator Standard Edition プロセッサライセンス 11	B5141EXBB	¥1,500,000	2	¥3,000,000
Interstage Application Server Standard-J Edition プロセッサライセンス V11(*2)	B51406SBB	¥550,000	2	¥1,100,000
合計(*3)				¥4,100,000

*1 遠隔地間におけるTCP/IPを利用するデータ転送ツールやユーザーアプリケーションなどのデータ通信を高速化するソフトウェアです。

*2 Interstage Application ServerがJava実行環境として必要です。

*3 上記の構成はサーバのCPUコア数が2の例です。別途、メディアバック費用、導入費用、SE費用、SupportDesk契約が必要です。

*記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または、商標です。

*本資料に記載されている内容は予告なしに変更する場合があります。

製品・サービスについてのお問い合わせは

富士通コンタクトライン（総合窓口）

0120-933-200

受付時間 9:00~17:30（土・日・祝日・年末年始を除く）

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

<http://interstage.fujitsu.com/jp/infointegrator/>